

1999.6.20

市川市文化祭

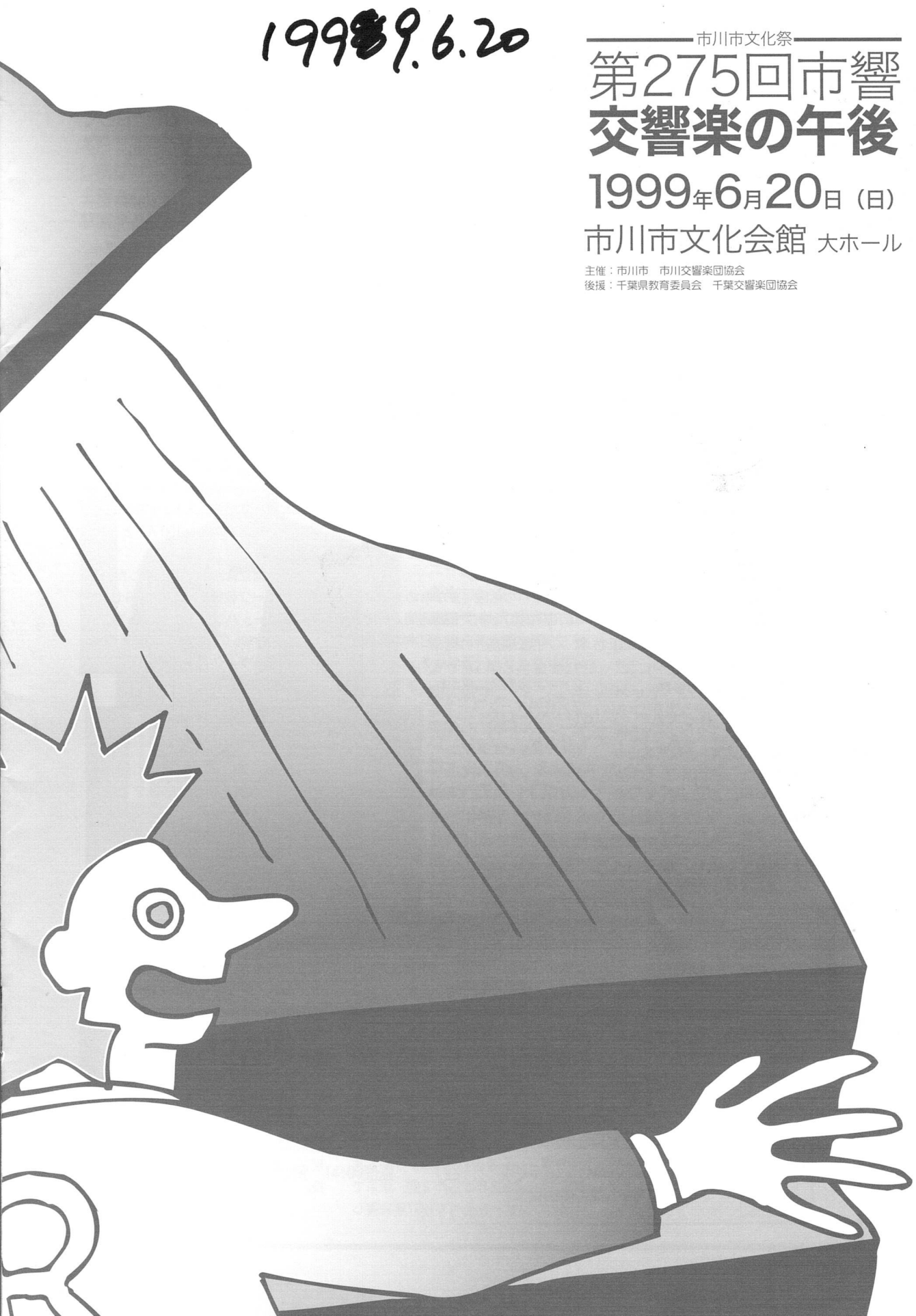
第275回市響 交響楽の午後

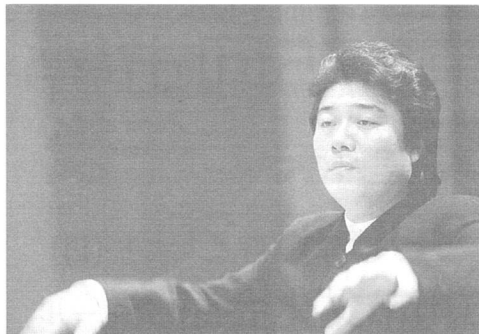
1999年6月20日(日)

市川市文化会館 大ホール

主催：市川市 市川交響楽団協会

後援：千葉県教育委員会 千葉交響楽団協会





指揮 金井 誠

松本市出身。(財)日本オペラ振興会でオペラ指揮者としての研鑽を積む。故渡邊暁雄氏の生前最後のオペラ「修禅寺物語」でアシスタントを務め、氏より絶大なる信頼を得た。急病の星出豊氏本人の推薦で代演したオペラ「泣いた赤鬼」でその作曲家松井和彦氏から「演奏の理想」と絶賛される。

アメリカン少年合唱団音楽監督J. リトウン氏にその指揮法、音楽性を絶賛された。「魔笛」「ドン・ジョバンニ」「こうもり」「カルメン」「ヘンゼルとグレーテル」「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「リゴレット」「マクベス」「椿姫」「おこんじょうり」「三人の女達の物語」「たらちね」など数多くのオペラを指揮する。東京シティ・フィルを始め、プロ、アマのオーケストラとの共演も多数。

また、青山円形劇場ミュージカル「メルヘン通り」指揮、ジャズクラリネット奏者北村英二氏との共演、三枝成章氏のトークショー出演、藤原歌劇団：宮本亜門氏演出「ピノキオ」参加、ミュージカル「泣きたくなったら笑うんだ」音楽監督など、その活動は多岐に渡る。

フォーレ「レクイエム」ペルゴレージ「スタバト・マーテル」「第九」などの声楽作品の指揮も高く評価された。また作曲家水野修孝氏のメモリアル・コンサートを指揮し、同氏に「自分の作品になくはない存在」と評された。

また、台本作家としても活動し、現在「ミュージカルシアター ヒラソル」の為に「イノセント・ムーン」を書き下ろし、現在水野修孝氏と創作中。

2歳より母の手ほどきを受け、ピアノをはじめ。3歳半より小津恒子、藤井博子氏にピアノを、中川喜久子氏にソルフェージュの指導を受ける。

東京芸術大学付属高校、東京芸術大学ピアノ科を卒業。この間田村宏、水谷達夫氏に師事。在学中に最優秀の成績により、東京芸術大学管弦楽研究部とベートーヴェンのピアノ協奏曲第1番を協演した。1984年、ハンス・グラーフ教授のすすめによりオーストリア国立ウィーン音楽大学演奏学科ピアノ専攻に入学、1986年最優秀首席で修了。オーストリア演奏家国家試験に合格した。

帰国後も毎年オーストリア／ウィーンに渡壇し、つねに自分の演奏に対する考え方をいろいろな角度から研究している。現在ヨーロッパ各地と東京を本拠に活躍中である。

ヨーロッパの活躍で主なものを挙げると、1994年ウィーン芸術週間／日境修好125周年記念演奏会で日本の代表としてリサイタル、翌年はチェコ／スロヴァキア音楽祭に招かれ、ブラチスラヴァ室内オーケストラとモーツァルトのピアノ協奏曲第27番をピエスタニー、ヴォイニツェ、トレンチン、バルデジョブにて協演した。

更に1996年、ブルガリア／ソフィアフィルハーモニー交響楽団定期演奏会のソリストに抜擢され、モーツァルトのピアノ協奏曲第23番を協演した後、ベートーヴェンのピアノ協奏曲『皇帝』とモーツァルトのピアノ協奏曲第23番のCDをリリースした。

国内ではピアノ協奏曲の協演(バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、リスト、グリーグ、チャイコフスキー、ラフマニノフ)、リサイタルと枚挙にいとまがないが、日本モーツァルト愛好会より、モーツァルトの全ピアノソロ曲(フラグメントを含む)のコンサートを依頼され、1992年から年2回、東京で11回のコンサートをへて1997年完奏し

たことは、特筆すべきであろう。

室内楽では、ウィーン・ムジークフェライン弦楽四重奏団と、また1991年から1992年にかけてウィーンフィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター、ヴェルナー・ヒンク氏、チェロの首席奏者フリッツ・ドレシャル氏と、モーツァルト、ハイドン、ベートーヴェン、シューベルト、メンデルスゾーン、ブラームスのピアノ三重奏を3晩共演した。1994年には日本モーツァルト愛好会の依頼でウィーンフィルハーモニー交響楽団の首席奏者アントン・シュトラカ氏とも、オール・モーツァルトのプログラムで共演している。

『本物のウィーン古典派を演奏できる貴重な本格派のピアニスト』('97ムジカノーヴァ刊ピアニスト100人)として、大変高い評を得ている。

ウィーン国立音楽大学で師事したハンス・グラーフ教授をはじめ、ヨゼフ・ディヒラー、ハンス・カン、レオニード・ブルンベルグ、ユルグ・フォン・フィンチカー、ヴィクトール・トイフルマイヤー諸氏の指導を受ける。



発売中のCDでは、ナミ・レコードからシューベルト／ソナタ第21番、モーツァルト／デュポールの主題による変奏曲ほか、ベートーヴェン／ピアノ協奏曲『皇帝』、モーツァルト／ピアノ協奏曲第23番(タバコフ指揮；ブルガリア／ソフィアフィルハーモニー交響楽団)、モーツァルト／3つのピアノソナタほかがある。

現在、聖徳大学人文学部ピアノ科助教授。

●●● ご来場の皆様へ(お詫びと訂正) ●●●

本日2曲目のラフマニノフ作曲ピアノ協奏曲第2番について、一部の方々に独奏者変更のお知らせをご案内しましたが、ピアニスト長尾洋史氏の病気が回復したため、当初予定の独奏者で演奏できる事となりました。主催者といましては、代演を引き受けてくださったプログラム記載のピアニスト原 佳大氏のご協力に感謝するとともに、多くの方々にご迷惑をおかけした事を深くお詫び申し上げます。

市川交響楽団 幹事長 時田 雄

Pianist Profile



長尾 洋史 (ながお・ひろし)

東京芸術大学卒業後、1988年同大学院修了。在学中に安宅賞を受賞。

これまでに札幌交響楽団、新日本フィルハーモニー、東京交響楽団と共演。89年第1回宝塚ベガ音楽コンクールで第1位優勝。91年HIMES海外音楽研究者派遣選抜コンクール第1位。ピアノを宗廣祐詩、遠藤道子、米谷治郎の各氏に師事。95年より97年3月までパリ・エコール・ノルマル音楽院に留学。ミシェル・ベッケ(Tb)、アンソニー・ブローグ(Tp)、ベルナルド・スーストロ(Tp)、ジュリアス・ベーカー(FI)らと共演するほか、ミシェル・ベッケ、エリック・オビエ(Tp)、ジャン・イヴ・フルモー(Sax)、長谷川陽子(Vc)とのCD録音も行ない、常にソリストたちから高い評価を受けている。

現在、東京芸術大学ピアノ科講師、ソルフェージュ科非常勤講師。

1999/12/26(日) 第278回市響 ファミリー交響楽

指揮：早川正昭

演奏：市川交響楽団

市川市文化会館 14:00開演

入場無料



プロコフィエフ
バレエ音楽「ロミオとジュリエット」より

メンデルスゾーン
交響曲第4番「イタリア」

第275回市響
交響楽の午後

オットー・ニコライ
Otto Nicolai (1810~49)

歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲
Ouverture zur Oper »Die lustigen Weiber von Windsor«

セルгей・ヴァシリエヴィチ・ラフマニノフ
Sergei Vasil'evich Rakhmaninov (1873~1943)

ピアノ協奏曲第2番
Piano Concerto No.2 op.18

I モデラート - Moderato
II アダージョ ソステヌート - Adagio Sostenuto
III アレグロ スケルツァンド - Allegro Scherzando

ピアノ独奏 原 佳大
Yoshiyuki Hara

本日のピアノコンチェルトは当初予定しておりました
長尾洋史氏急病により、原 佳大氏が代演いたします



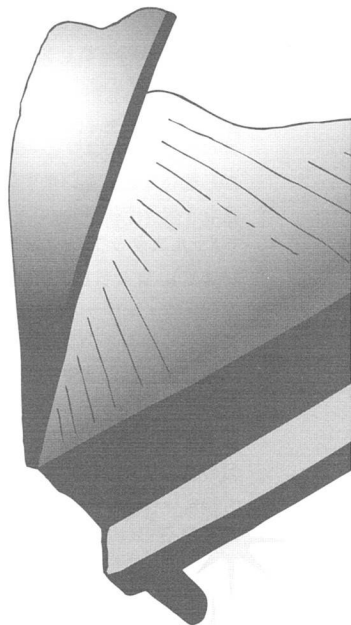
ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン
Ludwig van Beethoven (1770~1827)

交響曲第5番「運命」
Symphonie Nr.5 op.67

I アレグロ コンブリオ - Allegro con brio
II アンダンテ コン モート - Andante con moto
III アレグロ - Allegro
IV アレグロ - Allegro

指揮 金井 誠
Makoto Kanai

管弦楽 市川交響楽団
Ichikawa Symphony Orchestra



ニコライ

歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲

ニコライは1841年に当時のハプスブルク帝国の首都ウィーンで宮廷劇場のカペルマイスター（宮廷楽長といい、現代のオペラ座の総監督にあたる極めて重要なポストでした）に就任し、オペラ指揮者として活躍したほか、宮廷歌劇場のメンバーとともにフィルハーモニー協会を設立しました（この協会はその後現在のウィーンフィルハーモニーとして発展しています）。6年後、彼はウィーンでの仕事をやめてベルリンのプロイセン王立歌劇場の楽長となりましたが、「ウィンザーの陽気な女房たち」はこの時期に書かれたオペラです。これは現在でも世界中のオペラ劇場で上演され続けており、作曲家としての彼の名を後世に残すものになりました。

オペラそのものはシェークスピアの喜劇から題材をとっています（イタリアの有名なオペラ作曲家ヴェルディが作曲した「ファルスタッフ」も同じ題材を使っています）。女たらしのファルスタッフの浮気をウィンザーのおかみたちが協力して懲らしめるというお話で、このオペラの幕が開く前に演奏される序曲は、オペラの中で使われている旋律をいろいろに集めた楽しいものとなっています。約9分の間ですが、オペラの幕が開く前のわくわくした気分を味わっていただくことができますでしょうか？



ラフマニノフ

ピアノ協奏曲第2番

まずは冒頭のピアノの和音、特に左手の音に目も耳も集中してみてください。重く響く鐘のようなこの和音を支える左手の音は下からF-C-Asとなっています。そう、ピアノを弾く方ならピンときたはず。この和音はふつう「一度には押さえられない」音の重なりなのです。「なんでそんな音を？」。答は簡単。ラフマニノフ自身はやすやすと弾けたからです。彼は「確実に12度（この冒頭の和音より2音以上広い）の音程が掴める」ほどの大きな手をもつピアニストだったので。

第一楽章の随所に繰り広げられる深いアルペジオ、第三楽章で強奏される厚い重音の速いパッセージ…この曲には、ラフマニノフの大きな手に思いを馳せずにはいられない力強い独特の響きがふんだんに盛り込まれています。

また、それとは対照的に第二楽章は、思ひ出を愛しむかのようにメランコリックな叙情性に溢れ、ティンパニのトレモロに乗せてピアノの三連音が静かにたゆたう第三楽章の中間部では、いつもは華やかにアクセントを付けるシンバルが今に

も壊れそうな繊細さをもって迫ります。これらもまた、ラフマニノフならではの世界といえるでしょう。

既にこの曲を作曲し始めていた1900年、ラフマニノフは強度の神経衰弱のため、一時、一切の活動から遠ざかっています。作曲を再開したのが同年5月、曲の完成は翌年の春。そのため、この曲はそのメランコリックな性格ゆえに病気との関連で捉えられることもあれば、逆にむしろ病気の全快による創作意欲の横溢した作品として捉えられることもあるようです。

筆者としては断然後者を採りたい——なぜなら、この曲には重い短調の中にさえも太い生命力が脈打っているように感じられてならないからです。

本日の演奏にもその生命力が映るでしょうか。

ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」

第一グループ：「ジュピター」「未完成」「悲愴」「新世界より」「復活」

第二グループ：「運命」「田園」「合唱付き」「巨人」

問題です。この二つのグループに共通するものは何でしょう。一見して「シンフォニー」についている標題じゃないか」と思ったあなたはかなりのクラシックファンですね？では、この二つのグループの違いは何でしょう。

それは「誰が」その標題を付けたか、にあります。第一のグループは一般的に世界で認められている、あるいは作曲家が自ら付けた標題ですが、第二のグループは日本国内だけで呼ばれている呼び方なのです。

日本のクラシック音楽の世界にはその他の国とはちょっと違う点があります。日本は今や世界有数のクラシック音楽大国ですが、なぜか音楽に「標題」を付けたがる傾向があり、例えば、ベートーヴェンは自分では交響曲に標題を付けていないのですが、日本人のベートーヴェン好きが昂じてか、全9曲ある交響曲のうち3、5、6、9の4曲に標題が付けられてしまっているということは非常に興味深い現象です。

では日本における「標題」が悪いあるいは間違っているかというそう言い切れ

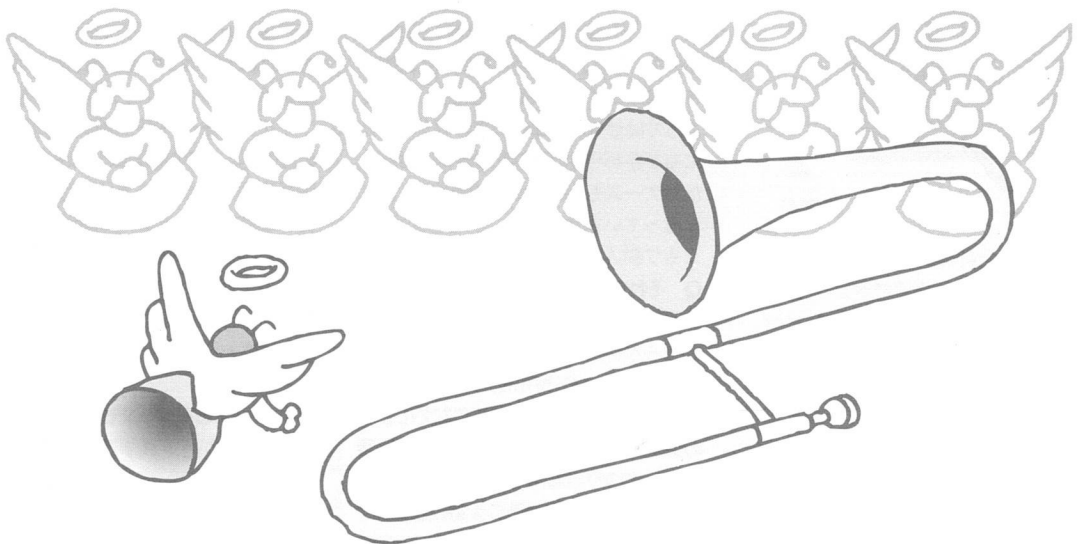
るものではありません。西洋音楽が雪崩を打って日本に入ってきた明治時代に当時の人々が作曲された背景や作曲者の発言などをもとに慎重につけた標題が多く、これらがその後日本だけとはいえず定着したことを考えても、曲の雰囲気うまく表現しているといえるのでしょう。なにより「運命」といえば「ああ、あのくじゃじゃじゃーん>ね」とわかるという意味ではクラシック音楽普及の大きな力となったといえるでしょう。

この有名なくじゃじゃじゃーん>は、よく聞いていると曲が始まってから手を変え品を変えてあちらこちらで鳴り響いています。

ベートーヴェンはこのくじゃじゃじゃーん>を始めとして、この曲の中でこれまで交響曲の世界では使われることのなかった新しいアイデアをいろいろ試しています。その一つに史上初めて交響曲の中でトロンボーンを使ったという点があります。当時の金管楽器には管を切り替える「弁（バルブ）」の仕組みがなく、トランペットやホルンなどは現在の楽器のように音階を自由に演奏できませんで

した。その中においてスライドで管の長さを調整するトロンボーンは、唯一音階を自由に作り出すことができる金管楽器であり、複雑なハーモニーを作り出すには好都合だったわけです。しかし、当時一般的にこの楽器は教会音楽で使われる「神の楽器」とされ、交響曲のような教会の外で演奏される「世俗音楽」に使用するのは恐れ多いと考えられていました。かのモーツァルトも、宗教音楽の大傑作である「レクイエム」Kv. 626では大胆に3本のトロンボーンを使用していますが、その他の器楽曲や交響曲でこの楽器を使うことはありませんでした。しかし、ベートーヴェンはこの常識を打ち破り第四楽章で3本のトロンボーンの音符を書いたのです。

この他、…おっと、紙面が尽きました。後の「新しいアイデア」はみなさんの耳で探してみてください。



アマオケ市川太会

ここが

知りたい!

the 27th Amateur Orchestra Festival
in Ichikawa

Q 最近市響のポスターやチラシには「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」の広告が入っていますが、これはどのような催しですか?

A 日本アマチュアオーケストラ連盟(JAO)は、全国のアマチュアオーケストラが加盟する、主にアマチュアオーケストラの交流と情報交換を目的とする社团法人です。JAOは第1回豊橋市を皮切りに、日本各地でJAO加盟オーケストラがホストを務めるアマチュアオーケストラフェスティバルを毎年夏に開催しています。今年の第27回大会は私たち市川交響楽団がホストオーケストラとなり、市川市文化会館を中心に開催されます。開会式は8/7。この日は、千葉県青少年オーケストラ、県立千葉女子高等学校オーケストラの歓迎演奏に続いて、全国から集まった25歳以下の若者で構成されたJAO青少年オーケストラが合同演奏を行います。8/8はA、B、C3つの社会人合同オーケストラがそれぞれプロの指揮者、コンサートマスターの指導のもと演奏を披露します。また、演奏会だけで

はなく弦楽器奏者の楽器の弾き方や音楽の組み立て方をNHK交響楽団の先生方から直接ご指導いただく弦楽クリニックや、アマチュアオーケストラの運営についての諸問題を議論する運営協議会など、盛り沢山の内容となっています。

Q 一緒に書いてある「国際アマチュアオーケストラフェスティバル」というのは何ですか?

A 昨年発足した世界アマチュアオーケストラ連盟(WFAO)を通じてアマチュアオーケストラの国際交流を行う催しです。昨年は、世界各地から社会人オーケストラの指導者・代表者が来日して国際会議を持ちましたが、今年の市川大会では、WFAO役員による国際会議の他、世界各地からお集まりいただいた演奏者の方々に合同オーケストラに加わっていただき、演奏を通じての国際交流を図ります。

Q 一体何人ぐらいの人々が集まるのですか?

A 青少年、社会人、弦楽クリニック合わせて北は北海道帯広から南は沖縄までの95団体約480名の参加申込みがありました。外国からの参加者は12ヶ国20名です。現在、オーケストラ別に出演者を調整中ですが、人数の都合上、楽器によってはせっかくお申し込みいただいたにもかかわらず、出演をあきらめていただくケースも出てしまい、誠に申し訳なく思っています。

Q それだけの人が集まるとなると準備が大変そうですね...

A 会場となる市川市文化会館は市川市・市川市教育委員会・市川市文化会館の全面的なご協力をお願いして大会期間中全館貸切りにしていただきました。打楽器やコントラバス等の大型楽器、4つのオーケストラが同時に練習を行うため、文化会館の備え付けでは足りない椅

子、譜面台などについては千葉県内のアマチュアオーケストラの助けを借りて集めているところです。

またこれだけの人が集まるため、大会期間中必要なお弁当はなんと全部で2000食分! 現在手配や配布の計画を練っています。

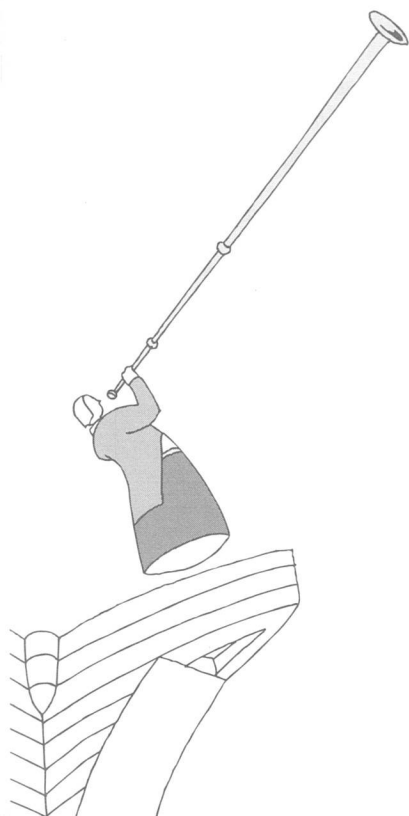
この他、会場整理をはじめとする当日の運営は私たち市川交響楽団が所属する市川交響楽団協会の仲間である市響ジュニア育成会、市川混声合唱団、行徳混声合唱団、市川交響吹奏楽団のご協力を得て行います。

Q 演奏会はどんな曲を演奏するのですか?

A 8月7日に演奏するJAO青少年オーケストラはヴェルディ: 歌劇「運命の力」序曲とホルスト: 組曲「惑星」より火星、金星、木星を演奏します。指揮は市響ジュニアオーケストラの指揮者山崎滋氏。現在新国立劇場のスタッフとして合唱指揮を担当する一方、多くのアマチュアオーケストラや合唱団の指導にあたっておられます。コンサートマスターは市響ジュニアオーケストラの松下あすかさんが大役を果たします。

8月8日の社会人オーケストラ演奏会は、まずボロディン: 交響曲第2番。指揮は田久保裕一氏です。田久保氏は習志野フィルハーモニー管弦楽団の出身で、学校の先生からプロの指揮者に転向され活躍されています。またコンサートマスターの本庄篤子氏は千葉県を本拠とするニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のコンサートマスター。地元のプロフェッショナル同志のコンビで幕を開けるというわけです。

続いてレスピーギ: 交響詩「ローマの祭」。指揮の金 洪才氏はエネルギーに満ちた指導をされることで皆様よくご存じかと思いますが、海外での活躍のかたわら、アマチュアオーケストラもたびたび指揮なさっています。中間部で独奏の



あるこの曲のコンサートマスターは、実力派ヴァイオリニストの深山尚久氏にお願いしました。

メインプロであるドヴォルザーク：交響曲第7番はオンドレイ・レナルト氏の指揮、豊田弓乃氏のコンサートマスターでお楽しみいただきます。レナルト氏は日本では新星日本交響楽団の名誉指揮者としておなじみですが、ヨーロッパではスロヴァキア国立歌劇場の音楽監督ほか多くのオペラ、コンサートを指揮しています。また第1回国民文化祭でアマチュア合同オーケストラを指揮し、感動的な「新世界交響曲」が演奏された記憶はいまだに鮮明ですが、これ以来の「お国もの」のドヴォルザークです。ご期待ください。

コンサートマスター豊田氏は一昨年市響の演奏会でベートヴェンのヴァイオリン協奏曲を独奏していただいて大変好評でした。現在は主にヨーロッパで室内オーケストラのコンサートマスターとしてご活躍中です。

Q とても楽しみです。どうすれば演奏会を聴きに行けるのですか？

A 演奏会そのものは市響の通常の演奏会と同じように入場無料ですが、全国から多くの音楽ファンが集まることが予想されるため、会場整理の都合上あらかじめ往復はがきによる整理券を発行し、演奏会当日に座席指定をさせていただきます。市川交響楽団協会の維持会員、賛助会員の方にお手数をおかけいたしますが、何とぞご容赦ください。なお演奏会入場整理券の申込み開始は6月1日、締切りは7月10日、整理券の返送は7月15日から予定しております。詳細は、「入場申し込み方法」をご覧ください。

大規模な大会なので実行委員一同胃の痛くなる思いで準備を進めていますが、全国から集まった仲間には楽しい3日間を、演奏会を聴きに來てくださった方々にはアマチュアオケの迫力を味わうひとときを実現できるよう、また、来年の開催地沖縄にしっかりバトンを渡せるよう、がんばっていきたいと思います。

入場申し込み方法

●官製の往復はがきをご使用ください。

●往信の宛先

272-0035 市川市新田2-33-10 市川交響楽団内 アマオケ市川大会事務局

●往信の裏側

8/7「青少年オーケストラ演奏会」入場希望

または

8/8「社会人オーケストラ演奏会」入場希望

入場希望者の郵便番号、住所、氏名、年齢

●返信の宛先


入場希望者の郵便番号、住所、氏名

●返信の裏側

何も記入しないでください。主催者で印刷します。

場ください。なお当日の開場時間など詳細につきましては返送された入場整理券をご参照ください。

●8/8「社会人オーケストラ演奏会」については、主催者の判断により保護者付添がありましても10歳未満のお子様の演奏会場への入場をご遠慮願う事があります。あらかじめご了承ください。この場合は文化会館付属の母子室のモニターでご鑑賞ください。

郵便往復はがき	
 (往 信)	XXXXX-XXXX (入場整理券希望者の住所)
(入場整理券希望者の氏名)	
8/7 「青少年オーケストラ演奏会」 入場希望 もしくは 8/8 「社会人オーケストラ演奏会」 入場希望 〒XXX-XXXX (入場整理券希望者の) 住 所 _____ 氏 名 _____ 年 齢 _____	

返信表

往信裏

ご注意


●往復はがきの記入方法に不備があると返送できない場合があります。ご注意ください。

●往復はがきは入場ご希望される演奏会1回につきお一人様1枚ご応募ください。8/7、8/8両日の入場をご希望の場合にはそれぞれ別々(計2枚)にお申し込みください。

●整理券1枚にて1名様のみ入場できます。

●整理券の発行数は各演奏会とも1200席を予定していますが、お申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

●演奏会の座席は当日指定とさせていただきます(自由席ではありません)。演奏会当日はご来場順に良い席から座席指定していきますので、お早めにご来

郵便往復はがき	
 (往 信)	2720035 市川交響楽団内 アマオケ市川大会事務局
市川市新田2-33-10	
(何も記入しないでください) (主催者側で印刷します)	

往信表

返信裏

●市川交響楽団協会の維持会員、賛助会員の方も会場整理の都合上お手数をおかけいたしますが、何とぞご理解をいただいた上、上記の方法でお申し込みください。

市川交響楽団
本日の出演者

icbikyō members

コンサートマスター
福原 祥子

第1 ヴァイオリン

石本 恵利
上原 剛介
笠松 秀臣
亀井 玲子
高田 賀夫
竹内 まり
立田 祥子
堂本 祐司
永田 匡
二宮 伸雄
福原 亜希
松延 裕子
横田富美子
吉岡 一郎

第2 ヴァイオリン

上田佳津子
鎌田 真貴
河村 智行
北原みずほ
木本 幸子
沢田 健
沢田 紀之
島原 千晶
鈴木 薫
根守 弘和
久田しげ子
溝田 範子
村上 葉子

村田 康代
横田佐貴絵 *

ヴィオラ

浅野さとみ
内田 綾美
柿沼ひとみ *
斉藤十一郎
相馬 正典
奈良林弘子
新井本志のぶ
原口 博司
星 乗昭
村上 賢一
若林 繁
渡部 玲子

チェロ

池田 寛之
尾崎 裕美
沢田 恵子
瀬川 清
田頭 扶
土屋 卓志
中村 公一
根岸 朋子
野中 能久
日澤 優
福原 耕二 *
山口 勝規

コントラバス

池田 和正
上村 啓介 *
菊池 克彦
鈴木 重則
長谷川隆子
宮崎 麻子
宮本 彰
向山 則子
村上 信乃

フルート

木村 純一 *
木村真諭紀
佐藤 洋行

オーボエ

二村 直子 *
深町 和良
山地 順子
吉田 史朗

クラリネット

井垣 貴嗣
一瀬 直美
時田 雄
半藤 嗣人
吉野 智久 *

ファゴット

金坂 哲 *

菅原 斉
高橋 幸世
古屋 文弘

ホルン

近藤 利昭
嶋村 恒夫 *
林田 朋子
藤井 茂司
山内 正晴
山本 恭子

トランペット

安藤 宣明 *
一樹 泰一
新井本昌宏

トロンボーン

古屋じゅん
古屋 義和
藪崎 裕至 *

チューバ

谷口 浩 *

打楽器

岩橋 正治
谷口 仁美
都筑 裕 *

*パートリーダー

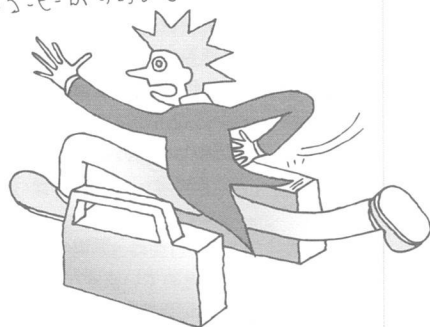


自家焙煎の店
珈琲 **タンネ**

本店 047-323-2394
JR市川駅北口アイアイロード入り口すぐ

支店 047-326-9783
シャポー1F(千葉より改札出てすぐ)

おいしいコーヒーのめしむ



くすり・化粧品 **カネコ**
ファーマシー

047-322-2420
JR市川駅北口アイアイロード入り口すぐ
カネコビル1F(2Fはタンネ本店)

房総文化憲章

房総の緑と海と土をいはずえとし 先人のたゆまぬ努力によって はぐくまれてきた文化を 一層発展させ 誇りのもてるふるさと房総を築いていくことは 私たち県民 すべての願いです。

社会の移り変わりのなかで ともすれば失われがちな 人と自然との調和や人と人とのきずなを見つめ直し うるおいや 喜びをもたらしてくれる心豊かな県民文化を創造していくことが 今 求められています

私たちは 一人ひとりが文化の担い手であることを自覚し さまざまな文化との交流を進めつつ 世界に開かれた文化県をめざしてここに房総文化憲章を定めます

1. 一人ひとりが 文化を愛する心を はぐくみ
県民文化の創造に 参加しよう
2. 地域の特色を生かし 水や緑との調和や
心のきずなを大切に
村や町づくりを おこなおう
3. 私たちの 財産である伝統文化や
文化財を守り 受けついでいこう
4. 空と海とを通じ 世界に開かれた房総の
特性を生かし 国際文化交流を進めよう
5. 文化の 視点に立って 行政を進め
心豊かな 県民文化の創造を 支援しよう

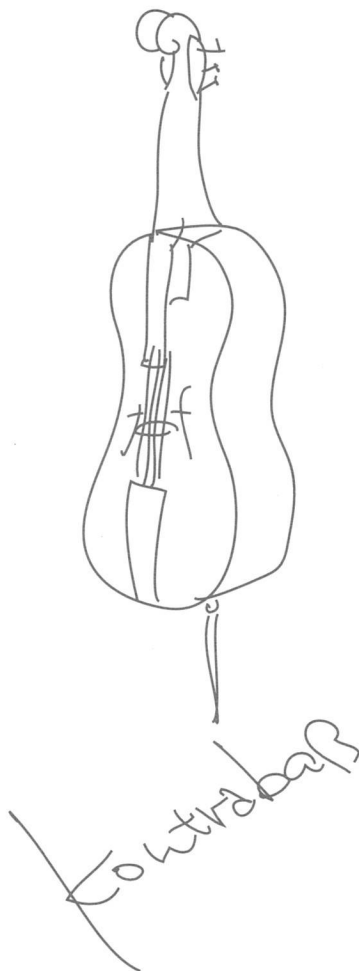
昭和60年11月3日制定

市川市 市民憲章

わたしたちは 江戸川の流れと松の緑に象徴される郷土市川と その自然を愛し 由緒ある史跡と伝承をまもり育て 文教都市にふさわしく 教育と文化を重んじ 人間性豊かな調和のとれた明るいまちをつくるために つぎのことを定めます

1. きれいで 安全な より住みよいまちを つくります
1. 親切で あたたかい 希望にみちたまちを つくります
1. 教育と文化をそだて かおり高いまちを つくります
1. 健康で 楽しく働く たくましいまちを つくります
1. みんなの幸せを願い 豊かな福祉のまちを つくります

昭和52年11月3日制定



市川交響楽団（市響）は、いろいろな職業をもつ幅広い年齢層の団員で構成されている市民オーケストラです。社会人の方で、オーケストラで演奏経験のある方、こちらに引っ越してきたのだけどいいオケないかな、といった方はぜひご参加ください。見学や入団ご希望の方は、下記あてお問い合わせください。

（弦）福原 TEL 043-279-2026

（管・打）時田 TEL 03-3600-0063

FAX 03-3600-0293

市響インターネットホームページ
<http://plaza28.mbn.or.jp/~ichikyo/>

また市響が所属する市川交響楽団協会には、歌を歌いたいのだけどという方に市川混声合唱団、行徳混声合唱団、いや私はプラスバンドがいいなという方には市川交響吹奏楽団、高校生以下の方には市響ジュニアオーケストラがございます。こちらにもぜひどうぞ。

市響ジュニアオーケストラ

団員募集中

募集楽器：ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・オーボエ・クラリネット・ファゴット・ホルン・トロンボーン・テューバ

年齢：小学生～22歳まで

練習日：毎週日曜日 10時～16時

練習場所：平田小学校音楽室

（練習場所が変更になる場合もあります）

連絡先：中屋 043-462-7855